

(様式 1 - 3)

福島県(南相馬市)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 27 年 5 月時点

NO.	5	事業名	農山村地域復興基盤総合整備事業(農地整備事業) 押釜地区	事業番号	(5)-38-4
交付団体	福島県	事業実施主体(直接/間接)	福島県(直接)		
総交付対象事業費	(81,950) 133,900(千円)	全体事業費	(281,368) 276,026(千円)		
帰還環境整備に関する目標					
<p>大震災以前は、地域農業者を中心に農業用施設並びに農用地の保全管理が行われてきたが、原子力災害の影響により、避難指示区域に指定され、農業用施設を管理する地域農業者が減り、従前のような適切な維持管理が不可能となり劣化、機能低下が進んでいる。特に農用地については4カ年に渡って作付けを休止していることから荒廃が進んでおり、営農再開に向けて、担い手農家への農地利用集積並びに農村地域の活性化を図る。</p> <p>よって、本事業を導入することにより、被災農家を含めた地域住民の帰還の促進や担い手農家への農地利用集積を図り、農村地域の再生加速化を目指すものである。</p>					
事業概要					
<p>本地区は東日本大震災以前からほ場整備事業を実施すべく調整してきたが、上述のとおり営農再開が困難な状況となっている。しかし、担い手をはじめ多くの農家は営農再開意欲が強く、この機会に基盤整備を行うことで、ほ場の大区画化等による農業生産性の向上、農作業の協業化、担い手への農地集積を促進することを目指している。</p> <p>(A=45.0ha)</p> <p>受益面積 A=44.8ha(押釜(おしがま)地区)</p> <p>【南相馬市復興計画の記載】</p> <p>主要施策3(経済復興)ー基本施策3-1(産業の再生)ー主な方策(農林水産業への支援)</p> <p>被災農地の大区画化と利用集積を進め、経営主体の生産法人化による大規模経営と農業経営の複合化の推進を図る。</p> <p>【福島県復興計画の記載】</p> <p>(3) 新たな時代をリードする産業の創出</p> <p>④ 産業の再生・発展に向けた基盤づくり</p> <p>農業の持続的発展と農家が意欲とやりがいを持って営農できる環境を整えていくため、農用地の利用集積と一体となった農地整備事業をはじめとした農業農村整備事業を推進する。</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 26 年度></p> <p>ほ場整備工事(区画整理工、補完工事、農業経営高度化支援事業)</p> <p><平成 27 年度></p> <p>ほ場整備工事(補完工事、換地業務、農業経営高度化支援事業)</p>					

<p><平成 28 年度> ほ場整備工事（補完工事、換地業務、農業経営高度化支援事業）</p>
<p>地域の帰還環境整備との関係</p> <p>本地域は避難指示区域であったことから、農用地並びに農業用施設の維持管理が不可能となり、施設の劣化や機能低下が顕著であるため、再生加速化の目標達成に向け、本事業の導入による農業生産基盤の整備を行う必要がある。</p>
<p>関連する事業の概要</p> <p>本交付金への移行前は、県営経営体育成基盤整備事業で 43.7ha を工事実施済み。</p>

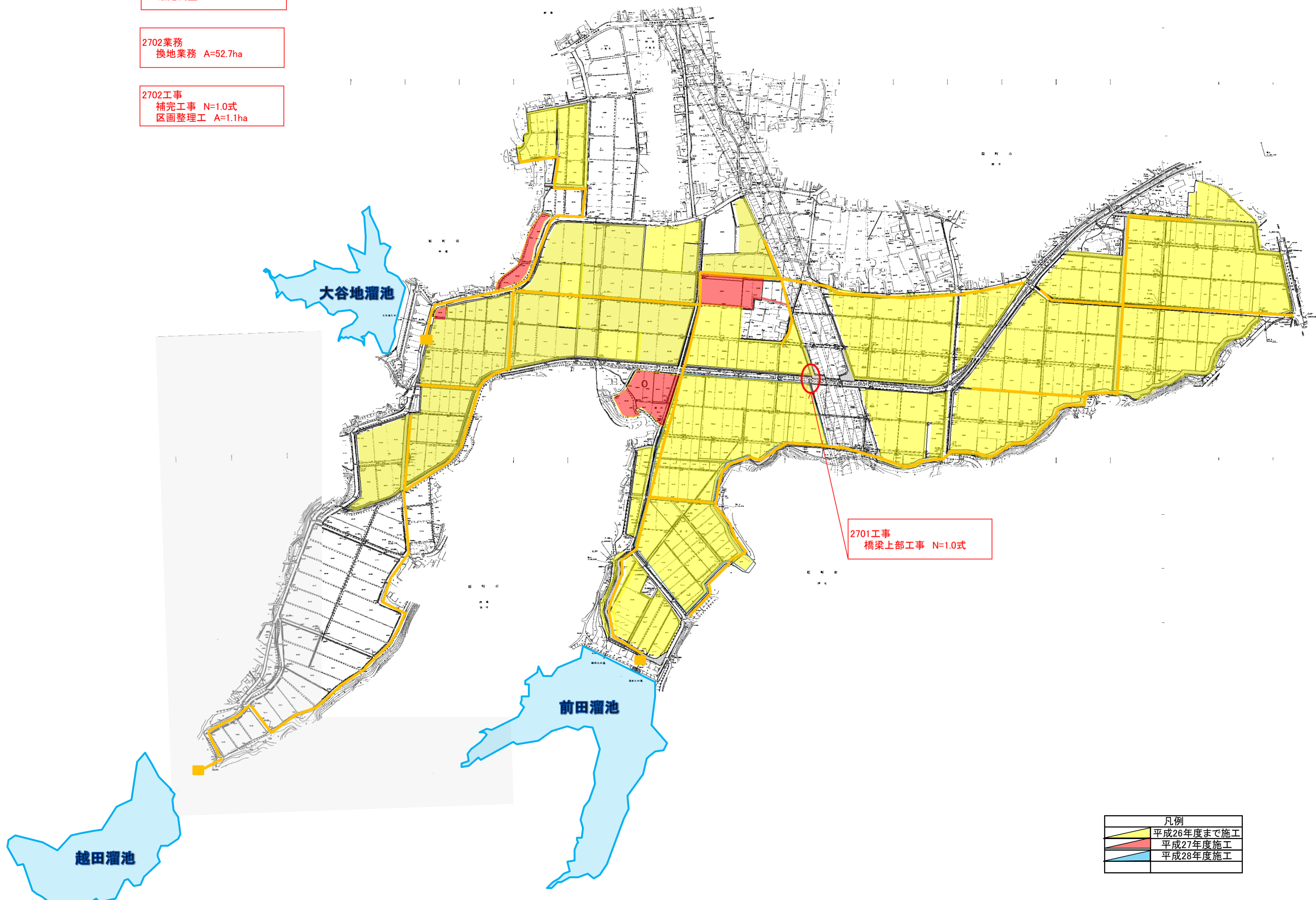
<p>関連する基幹事業</p>	
<p>事業番号</p>	
<p>事業名</p>	
<p>交付団体</p>	
<p>基幹事業との関連性</p>	

H27年度執行計画 経営体育成基盤整備事業 押釜地区

2701業務
確定測量 A=52.7ha

2702業務
換地業務 A=52.7ha

2702工事
補完工事 N=1.0式
区画整理工 A=1.1ha



凡例	
	平成26年度まで施工
	平成27年度施工
	平成28年度施工